

会計学科 (会計コース) カリキュラムマップ 【基本/124単位】

		1年次		2年次		3年次		4年次		必修科目	選択科目	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎 教育 科目	基礎的な文章作成と読解力を養成	日本語リテラシーⅠ 学びの技法 情報の役割を理解 情報リテラシーⅠ	日本語リテラシーⅡ 職業観・勤労観を養成 キャリアデザインⅠ	基礎的な情報収集力と発信力を養成	日本語リテラシーⅢ 日本語リテラシーⅣ 進路選択の知識を得る キャリアデザインⅡ							
	組織で協働できる力を養成	ロジカルシンキング 自己管理とビジネス倫理	他者理解と信頼関係	組織で能力を発揮できるスキルを修得	チームワークとリーダーシップ アイデアメイキング	組織で能力を発揮できるスキルを修得	プレゼンテーション					
	社会で必要になる基礎的な英語力を養成	英語Ⅰ(基礎)	英語Ⅱ(応用)	英語による口頭・文章表現力を向上	英語Ⅲ(実践)							
	社会で必要となる教養を身に付ける	心理と行動 民族と宗教 政治と行政	暮らしと経済	社会で必要となる教養を身に付ける	地域活動と社会貢献 ライフイベントと価値観 国際事情							
	経営への動機づけ	経営導入基礎Ⅰ	ビジネスを知る ビジネス基礎 地域との関わりを知る 地域創造	経営の諸活動を知る	経営導入基礎Ⅱ							
	企業会計と経済の基礎を修得する	会計学概論	ミクロ経済学 基礎的な情報知識を得る 情報処理Ⅰ	企業経営の基礎を学ぶ	経営学概論 企業会計に関連する法律、政策を理解する 商法 民法	情報の加工、分析を行う	情報処理Ⅱ 労働法 流通政策論	貿易ビジネスの原則を学ぶ	貿易論			
				小・中規模企業における簿記会計を理解する	商業簿記Ⅰ 商業簿記演習Ⅰ	商業簿記Ⅱ 商業簿記演習Ⅱ	工業簿記Ⅰ 商業簿記演習Ⅰ					
				学んだ会計の基礎知識を細分化し、より深く専門的に学修する	ファイナンス論	地域金融論 税務会計論	経営財務論 大企業における商取引や製造活動を理解する 商業簿記Ⅲ 商業簿記演習Ⅲ	財務分析論 工業簿記Ⅱ 工業簿記演習Ⅱ				
							他分野を含んだ学修に発展させ、会計学の側面から現代社会や組織を理解し、実務能力の幅を広げる	経済活動と法 地域企業論	マクロ経済学 地域経済論	租税法 企業法	経営情報管理 監査論	
							会計の側面から課題解決について学修する	会計実務研究Ⅰ	会計実務研究Ⅱ	簿記論Ⅰ	財務諸表論Ⅰ	
						卒論作成に向けたテーマ絞りりと情報収集	会計学研究法	会計学課題研究	4年間のまとめ = 卒業論文作成	会計卒業研究Ⅰ	会計卒業研究Ⅱ	
導入科目												
学部共通 基幹科目												
基幹科目												
展開科目												
発展科目												
実践科目												
研究科目												

【ディプロマ・ポリシー (DP)】

高崎商科大学商学部は、所定の卒業要件を満たし、以下の能力を身に付けた者に学士の学位を授与します。

◀商学部▶

1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力。
2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢。
3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力。
4. 大学での学びを地域に価値を還元する姿勢。

とりわけ「3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力。」では各学科において、次の能力を有することを求めます。

◀会計学科▶

1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人としての社会的責任を全うできる能力。
(職業会計人…公認会計士、税理士、会計に関する教員・公務員、会計に関する企業人)
2. 財務分析を行い、経営改善に関する助言を行える能力。

～卒業要件～
次の要件を満たし、124単位を修得する。基礎教育科目から必修を含み40単位を修得。必修を含み学部共通基幹科目から16単位以上、展開科目から6単位以上、発展科目及び実践科目から6単位以上を修得。